

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月分）

国際地域学部 3年 高橋大輔

留学先：ヴィリニウス大学 / リトアニア

こんにちは。福井大学国際地域学部3年の高橋大輔です。リトアニアのヴィリニウス大学に交換留学を始めてから11ヶ月目の報告をさせていただきます。

通常、ヴィリニウス大学では1月から期末試験が行われます。しかし今学期に私が履修している授業は英語開講科目のためか、受講している学生のほとんどが留学生で、期末試験も彼らの帰国等に合わせて12月のクリスマス前に行われることが多い印象でした。もちろん、中には通常通り1月中に期末試験を実施するクラスもありますが、帰国日が12月中であるなどといった旨を大学側に申請して許可が下りれば、個別で試験日を早めることも可能のようです。

目次

1. フランスで散歩
2. ドイツでお喋り

1. フランスで散歩

クリスマスと言えばドイツのクリスマスマーケットが思い浮かびますが、私はフランスを訪れました。2019年、フランスのパリでは12月に入ってから大規模ストライキが行われたことによって地下鉄などの公共交通機関は終日運休もしくは夕方以降に麻痺し始め、バスなども渋滞や混雑によって身動きが取れない状況が続いていました。私はパリ中心部から離れたシャルル・ド・ゴール空港（Aéroport de Paris-Charles-de-Gaulle）に夕方より少し前に到着しました。この時間帯もあってか、幸いながらパリ北駅というターミナルまでは特急電車（RER）などに乗って行くことができました。しかしながら、このターミナルからホテルまではまだ離れているのに、夕方の18時を過ぎていたのでどの駅員の方に訊いても「今日はもう電車は動かない」と言われ愕然としました。その際、タクシーやバスなどの代替案を提供してくださったものの、なぜか自分の中で「じゃあ歩こう」という判断に至り、2時間以上かけてパリの北から南までの10 kmを縦断しました。大きなリュックを背負っていたので観光客であることが周囲に丸分かりだったということ踏まえると、この手段はあまりオススメできません。ただ、この道中では、スマホ片手に歩道に乗り出すバイクや、道路工事の1,2 m手前で屋外ディナーを楽しむ人々、風俗店の横に並ぶレストランなど、リトアニアでも見られないような面白い光景を沢山見ることができたのでとても楽しかったです。



フランスのパリには4日間ほど滞在していたのですが、どの公共交通機関の何番が運休してい

るかなどの正しい情報は Google マップでも得ることができず、フランスの公共交通機関が出す公式アプリもすべてフランス語で使い勝手も不明で、さらにテキストもコピーできないので簡単に翻訳にかけることもできません。そのため、どの電車がどれだけ動いているのかも、どのバスが何分遅れてくるのかも分からず大変苦労しました。とても楽しかったです。



2. ドイツでお喋り

ドイツでは同学部からヨーロッパに交換留学をしているメンバーが集まってクリスマスマーケットを楽しんでいましたが、私はフランスを飛び立った後から合流しました。私がドイツのハンブルクに到着したときには既にクリスマスマーケットは終了し、通常の店舗なども日夜閉まり、それに合わせて、集まっていたメンバーの多くは自身の留学先国に帰っていました。彼らに混ざって話をしたかった思いはあるものの、勝手にフランスに行った自分を何も責めずにいてくれた皆、空港でもわざわざ迎えてくれた友人らには後悔よりも感謝の想いが先立ちます。ネット環境に接続できないまま、男子4人で泊まった日の夜は修学旅行をしている気分でした。とても楽しかったです。

このクリスマスのためにわざわざ日本から飛行機で飛んできてくれた友人は翌日の朝にドイツを出発しました。その日、残った男子3人はネットも無くスーパーも閉まっていたので、部屋でお喋りをしたり思い出の写真を眺めたりボードゲームで遊んだりして時間を過ごしました。とても楽しかったです。



残り一ヶ月も、楽しめます。